TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★☆☆☆ みじかい　146語

The Oxen and the Wheels

牛と車りん

Aesop（1919年の本）　原文そのまま　朗読：Katalina Watt

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　重い荷車をだまって引く牛たち。ところが、楽なはずの車りんは、まわるたびにギイギイともんくばかり……。



A pair of Oxen were drawing a heavily loaded wagon along a miry country road. They had to use all their strength to pull the wagon, but they did not complain.

The Wheels of the wagon were of a different sort. Though the task they had to do was very light compared with that of the Oxen, they creaked and groaned at every turn. The poor Oxen, pulling with all their might to draw the wagon through the deep mud, had their ears filled with the loud complaining of the Wheels. And this, you may well know, made their work so much the harder to endure.

"Silence!" the Oxen cried at last, out of patience. "What have you Wheels to complain about so loudly? We are drawing all the weight, not you, and we are keeping still about it besides."

> **They complain most who suffer least.**

和訳 牛と車りん（The Oxen and the Wheels）

2頭の牛が、荷物をたくさんつんだ荷車を引いて、ぬかるんだいなか道を進んでいました。牛たちは荷車を引くのに力をふりしぼらなければなりませんでしたが、もんくは言いませんでした。

荷車の車りんは、そうではありませんでした。車りんのしごとは牛たちよりずっと楽なのに、まわるたびにギイギイ、ギシギシと、うめき声を上げるのです。かわいそうに牛たちは、深いどろの中を力いっぱい荷車を引いているのに、耳には車りんの大きなもんくばかりが聞こえてきます。それで、ごぞんじのとおり、しごとがますますつらくなりました。

「しずかにしろ！」と、とうとうがまんできなくなった牛たちがさけびました。「車りんのくせに、何をそんなに大声でもんくを言うんだ？重いのを引いているのはぼくたちで、きみたちじゃない。それに、ぼくたちはだまってやっているんだぞ。」

> **いちばんもんくを言うのは、いちばん苦ろうしていない者です。**

たんご と クイズ 牛と車りん

Oxen 牛（ox の数が多いとき）	**wagon** 荷車	**Wheels** 車りん
mud どろ	**ears** 耳	

Q1 ギイギイともんくを言っていたのはだれ？

① 牛　② お百しょうさん　③ 車りん

Q2 牛たちはどんなふうにはたらいていた？

① だまってがんばっていた　② ずっとないていた　③ ねむっていた

こたえ

Q1 ③ しごとが楽なのに、まわるたびにギイギイ、ギシギシと音を立てていたのは車りんです。

Q2 ① 牛たちは、重い荷車を力をふりしぼって引いていましたが、もんくはひとことも言わずに、だまってがんばっていました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典 英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。

挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。

朗読（Web版）：Katalina Watt（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）

和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。